

南ア月報
(2020年10月)

【内政】

- 国境の一部再開（ロックダウン警戒レベル1）
- 白人農場経営者の殺害を発端とした抗議活動の発生
- 国家的災害事態の延長

【外政】

- ラマポーザ大統領による第二回 AU 中期調整会合の主催
- リビアにおける恒久的停戦合意の署名に関するラマポーザ大統領の声明
- 核兵器禁止条約の発効を歓迎する国際関係・協力省の声明
- グランドルネッサンスダム関係国対話の再開を歓迎するラマポーザ大統領の声明

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- ラマポーザ大統領が南ア経済再建及び回復計画を発表
- 中期財政政策演説（MTBPS）

【警備】

- 南ア治安情勢（スマートフォンを標的とした犯罪の多発）

1 内政

●国境の一部再開（ロックダウン警戒レベル1）

1日、ロックダウン警戒レベル1において国境が一部再開し、高リスク国以外の国からの観光目的での入国が許可され、各航空会社が運航を開始した（国際線の離発着はORタンボ（ヨハネスブルグ）、ケープタウン、キング・シャカ（ダーバン）の3空港のみ）。

また、19日には内務省が高リスク国リストの改訂（60か国から22か国に削減、独・伊・スペインなど7か国が新たに追加、引き続き日本は含まれず）を発表した。

●白人農場経営者の殺害を発端とした抗議活動の発生

2日、自由州セネカルで発生した21歳の白人農場経営者ブレンディン・ホーン氏殺害事件を発端とするアフリカーナーと野党EFFの対立が起こった。

16日、ホーン氏殺害の罪に問われた黒人容疑者2名が裁判に出廷するため、マレマ党首率いる野党EFF 党員約2,500名がセネカル判事裁判所の前に集まり、抗議活動を行った。また、与党ANC、野党DA、白人右派団体(AfriForum)及び地元の農民なども裁判所近くに集まり、抗議活動などを行った。なお、警察発表によれば、300名のANC青年同盟メンバー、約500～600名の農民が集まった。

●国家的災害事態の延長

14日、南ア政府は国家的災害事態（the national state of disaster）の1ヵ月延長（11月15日まで）を発表した。

2 外政

●ラマポーザ大統領による第二回 AU 中期調整会合の主催

22日、AU（アフリカ連合）議長のラマポーザ大統領は、AU、地域経済共同体、地域メカニズムを集め、第二回 AU 中期調整ミーティングを開催した。会合には、AU 議会ビューロー、地域経済共同体及び地域メカニズムの議長、AU 開発庁長官、アフリカ大陸自由貿易協定議長、ニジェール大統領及びアフリカ大陸自由貿易協定事務局長が参加した。会合は、COVID-19 のパンデミックがアフリカ大陸の社会及び経済に破壊的な影響を与えている状況下において、アフリカの最上位機関である AU、地域経済共同体、地域メカニズム及び AU 加盟国間の調整を行うために開催された。会合では、これらの組織、国との間の仕事の分担が議論され、アブジャ条約やアジェンダ 2063 で規定されているアフリカ大陸の政治、社会、経済、文化的統合の進捗状況に関する報告が行われた。

●リビアにおける恒久的停戦合意の署名に関するラマポーザ大統領の声明

25日、AU 議長のラマポーザ大統領は、ジュネーブにおいてリビアの対立勢力の間で全国的で恒久的な停戦合意が署名されたことを歓迎した。ラマポーザ大統領は、「我々は、この革新的で恒久的な停戦合意に同意した全ての署名者を祝福する。この合意の署名は、『紛争のないアフリカ (Silencing the Guns in Africa)』の実現に向けた重要な一歩である。この紛争を終わらせるために、全てのステークホルダー、地域的及び国際的なアクターに対し停戦合意の規定を尊重し、遅延なく合意を実施することを促すグテーレス国連事務総長の訴えを支持する。これは、国連安保理の武器禁輸措置の全面的かつ無条件な順守も含む。」と述べた。さらに、ラマポーザ大統領は外部アクターが武器禁輸措置を尊重し、リビア国内政治への干渉を控えることの必要性を強調した。

●核兵器禁止条約の発効を歓迎する国際関係・協力省の声明

26日、国際関係・協力省は、核兵器禁止条約の批准国が50か国に達したことを歓迎する旨の声明を発売した。声明の中で、パンドール国際関係・協力大臣は、「国連の日である10月25日は、同条約の批准国が50か国に達し、核兵器を廃絶しようとする人類の試みの分水嶺となった瞬間である。このことは、原子力エネルギーが大量破壊兵器としてではなく、平和的な目的のためのみに使われるべきであることを我々に思い起こさせる。南アは、全ての核兵器を自主的に破棄した最初の国として、いくつかの国連加盟国、市民社会のメンバーとともに、同条約が合意され、最終的には批准を確実にするために主導的な役割を果たしてきたことを誇りに思う。この条約は、国連憲章が定める『戦争の惨害から将来の世代を救う』という国連の中心的な目的を具体化するものである。」と述べた。さらに、パンドール大臣は、南アの目標は、核兵器のない世界を実現することであり、そのための努力を続ける旨述べた。

●グランドルネッサンスダム関係国対話の再開を歓迎するラマポーザ大統領の声明

26日、AU議長のラマポーザ大統領は、シーシ・エジプト大統領、アビィ・エチオピア大統領、ハムドク・スーダン首相によるグランドルネッサンスダム関係国協議が27日に再開されることを歓迎する声明を発売した。ラマポーザ大統領は、関係者が協力、善意及び妥協の精神に基づき、三者に受け入れ可能な合意に到達しようとするコミットメントを歓迎する。ラマポーザ大統領は、「AUの下でグランドルネッサンスダム関係国による対話が再開されたことは、この問題を平和的かつ友好的に解決しようとする三者の強い政治的意思を示すものである。このことは、AUの基盤の一つである、アフリカの問題はアフリカが解決するという汎アフリカ主義の原則に沿い、三者がアフリカ主導の交渉プロセスに信頼を置いていることを確認するものである。」と述べた。ラマポーザ大統領は、AUが三者協議を全面的に支援することを確認し、3か国が合意に達することへの信頼を確認した。また、ラマポーザ大統領は、グランドルネッサンスダムに関する交渉の終結がアフリカ全体を資する地域統合を加速させ、協力と持続可能な開発を後押しすると述べた。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2020年9月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ0.2%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は3.0%と、前月に比べ0.1%低下した。（南ア統計局、10月28日）

●為替レート

2020年10月30日付（南ア準備銀行）

6.3913 ランド/円

16.3246 ランド/米ドル

19.0516 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2020年8月の製造業は、前年同月比10.8%減。主なマイナス要因は、自動車及び輸送機器関連製品で30.6%減、鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で11.7%減、食料品及び飲料で6.8%減、木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で11.9%減。また過去3ヵ月（2020年6～8月）の季節調節後生産高は2020年3月～5月の3ヵ月から20.7%増。製造業10部門中全ての部門で生産高増となった。（南ア統計局、10月12日）

●鉱業生産高

2020年8月の鉱業生産高は、前年同月比3.3%減。主なマイナス要因は、金で14.8%減、鉄鉱石で18.1%減、石炭で4.0%減。また過去3ヵ月（2020年6～8月）の季節調節後生産高は2020年3月～5月の3ヵ月から27.5%増となった。（南ア統計局、10月13日）

<出来事>

●ラマポーザ大統領が南ア経済再建及び回復計画を発表

15日、ラマポーザ大統領は演説を行い、新型コロナウイルス及び長期のロックダウンを発端とする深刻な経済状況からの立て直しに向けた南ア経済再建及び回復計画を発表。本計画は（1）インフラ開発の大規模展開、（2）エネルギー発電能力の拡大、（3）雇用創出及び生活支援のための雇用対策、（4）産業成長の推進の4つの重点分野で支えられている。また、政府は重点目標を実現するにあたり、2年以内に信頼できるエネルギー供給を達成、4年以内に1兆ランド以上のインフラ投資実現及び短期的に8万を超える雇用機会を創出する等の目標を掲げている。

●中期財政政策演説（MTBPS）

10月28日、ムボウェニ財務大臣は2020年度中期財政政策演説を行なった。本財政政策は、債務を抑制しながら経済成長を促す今後5年間の財政再建のロードマップを発表するものであった。ポイントは以下の通り。

（1）2020年の南アGDP成長率をマイナス7.8%と予想。2021年のGDP成長率を3.3%、2022年は1.7%、2023年は1.5%の成長と予想。大統領が発表した経済再建及び計画の実施に全力を注ぐことにより、経済成長を3パーセント以上に加速することが可能と予想。

（2）累積公的債務は、今年度の約4兆ランド（対GDP比約82%）から、2023/24年度には5.5兆ランド（対GDP比約93%）に増加。

（3）今年度の改訂後予算赤字は補正予算発表時よりも少し改善し7,078億ランドになると予想、対GDP比率で14.6%。

（4）過去5年間で公務員給与は平均して年7.2%増加。国、州、地方自治体、国営企業、その他全ての公的部門において管理職レベルの給与減額の提案を検討。

（5）国営企業省と国庫の間で、プログラム及びプロジェクトごとに分析及び評価を行うゼロベース予算編成を来年度から試験的に導入。2023年までに予算システムに完全に統合させる予定。

（6）南ア航空（SAA）に対し救済計画を実施するため105億ランドが当てられる。また、Eskomに対してはロードマップの実施及び同社の3つの部門（発電、送電及び配電）に分離させる組織改革を継続。

4 警備

●南ア治安情勢（スマートフォンを標的とした犯罪の多発）

10月18日午後、多くの人で賑わうプレトリアのヘーゼルウッド地区の飲食店前にて、スマートフォンを奪おうとした強盗犯人に対し、被害者が抵抗したところ銃撃され負傷するという事件が発生した。

他にも、全国的にスマートフォンを狙った路上強盗、ひったくりなどが多発しており、その多くで銃器などの凶器が使用されていることから、公共の場所でスマートフォンを周囲に見ええる形で携行・使用しない、飲食店などのテーブル上に置かない、路面に面した飲食店やオープンテラス席が特に狙われやすいため店や席の選定は慎重に行うといった点に留意する必要がある。また、万が一スマートフォンを奪われそうになった場合は、絶対に抵抗しないことが重要である。